

## 第3期基本計画の分野別の中間フォローアップ（情報通信分野） について（案）

平成20年11月10日  
内閣府(科学技術政策・イノベーション)  
情報通信担当

1. 「分野別推進戦略」については、「第3期科学技術基本計画」（平成18年3月28日閣議決定）に基づき、平成18年度より毎年フォローアップが実施されている。中間年度に当たる本年度（平成20年度）のフォローアップについては、平成20年6月17日開催の基本政策推進専門調査会の決定（参考資料3）に基づき、平成18年度から平成20年度までの3ヶ年についてより詳細な中間フォローアップを実施する。
2. 具体的には、「分野別推進戦略」の項目に沿って、平成18年度および平成19年度と同様に、次ページの事項を基本として整理する。  
なお、中間フォローアップとしてより詳細な確認等を行うために、「重要な研究開発課題」に関する取組み状況結果（参考資料4）及び平成18年度及び平成19年度に行った「戦略重点科学技術」毎の進捗状況結果（参考資料5）に加えて、別添資料により平成20年度末の施策毎の進捗状況（見込み）に関する定量的把握調査を行い、3年間を通じた進捗状況の把握・整理等を行う。
3. 今後のスケジュールについては、参考資料3にあるとおり、来年度5～6月の分野別推進戦略総合PT等における中間フォローアップ全体取りまとめに向けて作業を進めることとし、まず、事務局において、関係府省に対して平成20年度末の施策毎の進捗状況（見込み）等に関する調査を行うとともに、前回情報通信PTにおいて確認された「各領域検討とりまとめ」を中心に、課題に対する現状認識、進捗状況、今後の推進方策等に関するフォローアップ原案を作成する。  
上記原案をもとに、次回情報通信PT（第9回）（本年12月）および次々回情報通信PT（第10回）（来年度3月～4月頃）において内容についての議論をいただき、成案を得る。

# 目次構成

## I. 分野別推進戦略について

## II. 平成18年度～20年度までの3ヶ年における各分野の実施状況（概要等）

### 【情報通信分野】

#### 1. 平成18年度～20年度までの3ヶ年における実施状況

##### (1) 「状況認識」及び「推進方策」について

※ 情報通信分野のおかれている状況の、戦略策定時からの重要な変化（海外の状況を含む）について、「分野別領域とりまとめ」における課題認識、技術障壁等を中心に記載する。

##### (2) 「重要な研究開発課題」及び「戦略重点科学技術」について

※ 下記1) 2) に関しては、分野別推進戦略にまとめられた「重要な研究開発課題」ごとの研究開発目標及び成果目標に対する達成状況について、18年度及び19年度フォローアップ結果に加え、今年度行う関係個別施策に対する進捗状況に関する定量的調査結果を加味し、20年度末（見込み）までの進捗状況を整理する。

##### 1) 全体的な概況

##### 2) 特筆すべき事項

- (i) ネットワーク領域
- (ii) ユビキタス領域
- (iii) デバイス領域
- (iv) セキュリティ及びソフトウェア領域
- (v) ヒューマンインタフェース及びコンテンツ領域
- (vi) ロボット領域
- (vii) 研究開発基盤領域

★ 戦略重点科学技術は集中投資していくものであるため、「3. 「戦略重点科学技術」について」として、個別の科学技術毎に状況を整理した表（別紙参照）を作成

##### 3) 連携、分野横断・融合事例

- (i) 情報通信分野の研究開発における連携の重要性
- (ii) 当面の具体的連携活動

※ 「科学技術連携施策群」、「社会還元加速プロジェクト」における各タスクフォース等での取組み状況、成果等について記載する。また、上記個別進捗状況調査と併せて、関係府省に対して連携等の事例についても調査し、その結果等についても記述する。

## 2. 今後の取組について

※ 下記（１）（２）については、「各領域検討とりまとめ」の提言を中心に、特に今後の取組みに対する留意点等について記述する。

### （１）推進方策について

### （２）「重要な研究開発課題」及び「戦略重点科学技術」について

- （i）ネットワーク領域
- （ii）ユビキタス領域
- （iii）デバイス領域
- （iv）セキュリティ及びソフトウェア領域
- （v）ヒューマンインタフェース及びコンテンツ領域
- （vi）ロボット領域
- （vii）研究開発基盤領域

### （３）連携、分野横断・融合方策について

※ 「各領域検討とりまとめ」の提言から、特に連携、分野横断・融合方策について関する提言を中心に、今後の取組みに対する留意点等について整理し記述する。

### （４）分野別推進戦略の実施における留意点

※上記（１）～（３）中で指摘した事項も含め、特に重要性の高い事項、または、領域をまたがる事項等について、情報通信PTにおいて頂いた留意点を記載する。なお、昨年度までにて頂いた留意点についても、必要に応じて改めて記述する。

（参考：平成19年度フォローアップにおける留意点）

- （i）戦略的優先度の高い課題の機動的実施
- （ii）国家基幹技術（次世代スーパーコンピュータ）への取組み
- （iii）次世代高度IT人材の育成の強化
- （iv）他分野の研究開発加速への貢献
- （v）国際ベンチマークの充実

各戦略重点科学技術の平成18年度から平成20年度までの3ヶ年間の状況

戦略重点科学技術の名称	
関係する政策目標	※ 個別政策目標の番号で記載
1. 目標、推進体制 (1) 目標	
(2) 推進体制 ※ 各省・民間との連携を含めて記述	
2. 主な成果及び目標の達成状況 (1) 主な成果 ※ <u>連携、横断・融合に係る具体的事例等についても記述</u>	
(2) 目標の達成状況	
3. 今後の課題 ※ <u>連携、横断・融合に係る取組についても記述</u>	

平成20年度末の施策毎の進捗状況(見込み)に関する定量的把握調査(案)

領域名: ネットワーク領域

資料3別添

重要な研究開発課題名: 1. 利用者の要求に対してダイナミックに最適な環境を提供できるネットワーク

府省名: 総務省

通し番号	分野別推進戦略に記述した「研究開発目標」: (内閣府で転記)	進捗状況	進捗率		B.と判断する根拠(外部有識者による中間評価, 年度評価, 論文受賞, 国際標準など客観的な根拠の資料を添付すること)
			A. 「研究開発目標」に対する当初計画における2008年度末までの達成度目標割合[%]	B. 2008年度末におけるAに対する達成度割合[%]	
1-総1	○ 2010年までに、分散配備されるサービス処理やネットワーク制御の機能モジュールの動的な再配置や配置最適化を実現し、オープン化ソフト化されたネットワークアーキテクチャを確立する。【総務省】	2008年度末までの進捗状況 [ダイナミックネットワークに関する研究開発(200●年~201○年)] 分散サービスを効率よく行うためのネットワーク制御アーキテクチャを実装したソフトウェアとして●●●を開発し、その評価を行った。その結果、ネットワークのスループットを▲▲%向上させることができた。	40	100	●●●に対する中間評価報告書(2007年3月)において、●●アーキテクチャの開発は、▲▲と高く評価された。
2010年度末までの課題 [ダイナミックネットワークに関する研究開発(200●年~201○年)] 第3期後半に行う具体的・定量的な研究開発目標(これが達成されれば2011年3月に目標が100%達成されたと考える研究開発事項) □□□といった点を解決するアーキテクチャを提案開発し、●●をさらに○○%改善する。					
1-総2	○ 2010年までにホームネットワーク内で異なる通信規格においても相互に情報をやり取りするための技術を確立する。【総務省】	2008年度末までの進捗状況 [当該目標に関する施策名] 当該目標に対する進捗状況を具体的に書く	50	120	
2010年度末までの課題 [当該目標に関する施策名] 第3期後半に行う具体的・定量的な研究開発目標(これが達成されれば2011年3月に目標が100%達成されたと考える研究開発事項)					